

秋夕焼

新野祐子

地を這うもの天上を向く厄日かな

子の宿るところ明るし天の川

はらわたの滾る秋刀魚のよく焼ける

彼岸花増える 世界はテロ続く

息上げて蔓竜胆を揺らしけり

樺の木の剥がれし皮を秋の手紙に

麒麟彫る腕かいなたおやか小鳥来る

釣瓶落し木彫りの蛾の動き出す

木漏れ日のひかがみ過る湿地採り

秋夕焼唐天竺のしじまより